

第1回

金属積層造形技術

～現場導入に向けた技術の習得～

日時 2018年 **11**月**8**日(木) 10:00～16:00

場所 近畿大学次世代基盤技術研究所

(東広島市高屋うめの辺1番 工学部キャンパス内 Tel(082)434-7005)

対象者 企業の技術者で、積層造形(樹脂等)に携わっている、
または経験を有する方

積層造形技術、すなわち付加加工技術は、これまでの除去加工や成形加工といった他の加工技術では不可能であった複雑な形状や内部構造の造形が可能であり、重要な加工ツールの一つとして欧米や国内の企業での導入が進んでいます。しかしながら、金属の積層造形技術は装置だけでなく、材料(粉末)や造形データの作成方法に至るまで様々なノウハウの蓄積が必要であり、人材の育成が急務となっています。

本講義では、金属積層造形での造形条件選定、サポート付加などをシミュレーション手法の紹介を交えた座学とともに、金属積層造形装置(SLM280HL)による造形体験と3Dスキャナ(gom ATOS Core)による形状測定実習を通して金属積層造形技術の生産現場への導入に向けた技術・知識の習得を目指します。

【スケジュール】

10:00～12:00 <講義> 現場導入に向けた金属積層造形技術

— 昼休憩 —

13:00～16:00 <実習> サポート構造付加の実習と3Dスキャナによる形状測定

【講師】 池庄司 敏孝

近畿大学次世代基盤技術研究所 3D造形技術研究センター 准教授

【受講料】 近畿大学工学部産学官連携推進協力会会員：10,000円

一般(非会員)：12,000円

【申込み〆切】 平成30年10月25日(木)

【主催】 近畿大学工学部産学官連携推進協力会、東広島市産学金官連携推進協議会

【共催】 ひろしまアディティブ・マニファクチャリング研究会